



平成23年度 第2回 医療安全研修会 報告

平成23年12月1日(木)、金沢医科大学の中川淳准教授に『活かそう、インシデントレポート！—全員で行うインシデント検討会—』をテーマに講演を頂きました。参加者は127名(参加率25.7%)でした。

実際のインシデント事例を紹介しながら、SHELL分析手法を用いて要因の分析や対策立案をどのように行うのか紹介頂きました。会場の参加者を交えて、アレルギーのある抗生剤が投与された事例の対策を考えるワークも行い、インシデント分析の必要性や方法が理解できました。

当日参加できなかった方は、後日インシデントレポートシステムにビデオ公開をしますので、ご覧ください。

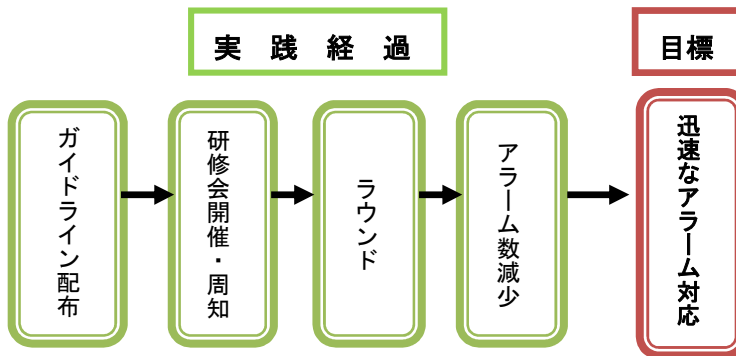
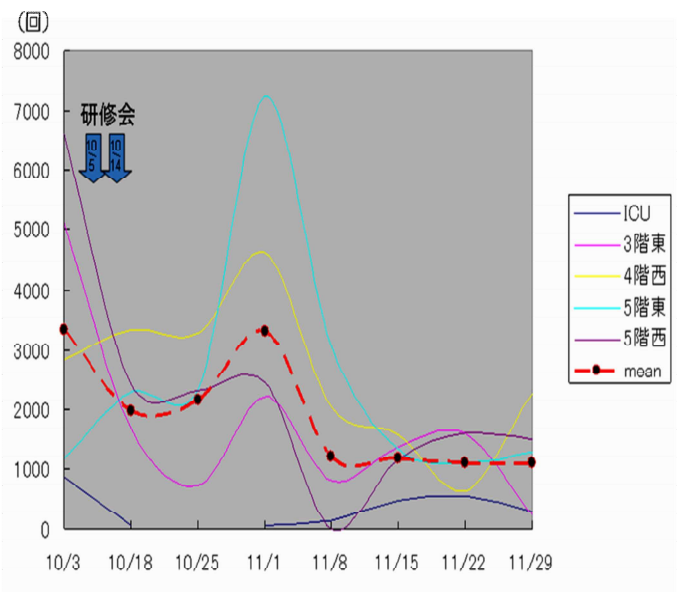
金沢医科大学
糖尿病・内分泌内科学 准教授
医療安全管理室 副室長
中川 淳 先生

「生体情報監視装置(モニタ)の安全使用ガイドライン」の実践評価

12月医療安全委員会にて、10月に配布した「モニタの安全使用ガイドライン」の実践評価を、水谷看護副部長と知久田副技師長が報告されました。

ガイドラインの実践により、11/29のラウンドで、医師指示によるアラーム設定患者が36名中23名(63.9%)となり、モニタアラームが1/3に減少した。今後は、ME部と連携を密にし、さらにアラームの無駄鳴りを減少し、アラームが鳴った時に看護師が「原因の確認→患者観察→対処」ができることを目標とする。

病棟別アラーム回数(24時間)



回 覧									

* 医療安全通信は、各部署で回覧サインをし、保管をお願いいたします。